

履修モデル

※2014（平成26）年度以前の入学生は2014（平成26）年度以前の履修モデルをご覧ください。

食品関連業界における技術職（商品開発、品質・衛生管理、製造部門）をめざす

想定される具体的な進路・職種	食品製造会社、食品衛生関連会社、公務員（食品衛生監視員）など
----------------	--------------------------------

食品科学系の講義科目を中心として、食品成分の化学的な特徴や食べ物の物理的な特性を理解すると同時に食品成分の消化・吸収・代謝のメカニズムなど栄養学的な知識を習得し、本知識を基に保蔵と加工の理論と実際を学びます。さらに食の安全・安心に欠かせない食品衛生学や最先端の知識である食品機能学を学ぶとともに、学生実験や食品加工実習などを通して食品について実践的かつ総合的な知識や洞察力を身に付け、食品関連業界における技術職（商品開発、品質・衛生管理、製造部門）をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養 教育 部門	人文社会科目群	日本の歴史と文化 哲学 日本国憲法 経済学			
	自然科学科目群	物質の成り立ち 生命・食料・環境・エネルギー			
	言語コミュニケーション科目群	英語初級Ⅰ 英語初級Ⅱ 英会話初級Ⅰ 英会話初級Ⅱ	英語初級Ⅲ 英語初級Ⅳ 英会話初級Ⅲ 英会話初級Ⅳ		
	情報技術科目群	情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ			
	健康とスポーツ科目群	健康・スポーツ科学Ⅰ 健康・スポーツ科学Ⅱ	健康・スポーツ科学Ⅲ 健康・スポーツ科学Ⅳ		
	キャリア教育科目群				
専門 教育 部門	基礎教育科目群	生物学Ⅰ・Ⅱ 化学Ⅰ・Ⅱ 物理学 生物学実験 化学実験		科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	
	学系共通	応用生物化学概説 農場実習 無機化学Ⅰ 分析化学	無機化学Ⅱ	ゼミナールⅠ 化学工学 食品・環境関連法規 公衆衛生学 機器分析化学	卒業研究 ゼミナールⅡ
	生命科学系	生物化学Ⅰ	生物化学Ⅱ 微生物学Ⅰ 微生物学Ⅱ 応用生物化学実験Ⅰ 応用生物化学実験Ⅳ		

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
食品科学系	食物文化論 食品化学総論	栄養科学Ⅰ 栄養科学Ⅱ 畜産食品製造科学Ⅰ 食品原料学 食品加工実習 畜産食品原料学 食品利用学	食品機能学Ⅰ 応用生物化学実験Ⅴ 応用生物化学実験Ⅶ 食品安全・衛生学 畜産食品製造科学Ⅱ 食品保蔵学	
生物有機化学系	有機化学Ⅰ 物理化学Ⅰ	有機化学Ⅱ 農薬科学Ⅰ 物理化学Ⅱ 応用生物化学実験Ⅱ 応用生物化学実験Ⅲ	応用生物化学実験Ⅵ 農薬科学Ⅱ	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

バイオ関連企業や醸造関連企業などにおける技術職（研究開発、品質管理）をめざす

想定される具体的な進路・職種	バイオ関連会社、醸造会社など
----------------	----------------

生命科学系の講義科目を中心として、遺伝子関連物質（DNA、RNAなど）やタンパク質（酵素、受容体など）などの、生命を構成するさまざまな分子の構造や機能を理解し、最新の遺伝子工学や微生物利用技術を学ぶとともに、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝子組み換え技術による医薬品・化粧品・機能性食品の開発、さらには微生物を利用した醸造、発酵分野での応用技術などを学習することによって、バイオテクノロジーの知識とスキルを身に付け、バイオ関連企業や醸造関連企業などにおける技術職（研究開発、品質管理）をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育部門	人文社会科目群	日本の歴史と文化 哲学 日本国憲法 経済学			
	自然科学科目群	物質の成り立ち 生命・食料・環境・エネルギー			
	言語コミュニケーション科目群	英語初級Ⅰ 英語初級Ⅱ 英会話初級Ⅰ 英会話初級Ⅱ	英語初級Ⅲ 英語初級Ⅳ 英会話初級Ⅲ 英会話初級Ⅳ		
	情報技術科目群	情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ			
	健康とスポーツ科目群	健康・スポーツ科学Ⅰ 健康・スポーツ科学Ⅱ	健康・スポーツ科学Ⅲ >健康・スポーツ科学Ⅳ		

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
キャリア教育 科目群		インターンシップ I・II		
専門 教育 部門	基礎教育科目 生物学 I・II 化学 I・II 物理学 数学 生物学実験 化学実験	情報科学	科学英語 I 科学英語 II	
学系共通	応用生物化学概説 分析化学 植物生命科学	統計学	ゼミナール I 機器分析化学	卒業研究 ゼミナール II
生命科学系	生物化学 I 細胞生物学	生物化学 II 微生物学 I 微生物学 II 微生物利用学 バイオテクノロジー 代謝生化学 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 IV	動物生命科学 醸造・発酵科学 分子生物学 タンパク質・遺伝 子工学	
食品科学系		栄養科学 I 栄養科学 II 畜産食品製造科学 I	応用生物化学実験 V 応用生物化学実験 VII 食品安全・衛生学 畜産食品製造科学 II	
生物有機化学 系	有機化学 I 物理化学 I	有機化学 II 物理化学 II 農薬科学 I 応用生物化学実験 II 応用生物化学実験 III	応用生物化学実験 VI 農薬科学 II	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

医薬品系企業や化粧品関連企業などの職業をめざす

想定される具体的な進路・職種	医薬品会社や化粧品会社など
----------------	---------------

生物有機化学系の講義科目を中心として、物質を分子論的視点で取り扱い、さまざまな化学分析手法を修得するとともに、有機電子論に基づく有機反応の分子機構や、農薬等の化学物質と生物とのかかわりなどを学びます。また実際に生物活性物質を掌の上で精密合成・活性評価したり、新しいレオロジー技術や熱力学的技術による分子物性解析や評価法を学習したりすることによって、ライフサイエンスの基礎となる分子構造学的考察力や洞察力を身に付け、医薬品系・化学系企業や化粧品関連企業などの職業をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

区分	授業科目
----	------

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養 教育 部門	人文社会科目 群	日本の歴史と文化 哲学 日本国憲法 経済学			
	自然科学科目 群	物質の成り立ち 生命・食料・環 境・エネルギー			
	言語コミュニ ケーション科 目群	英語初級Ⅰ 英語初級Ⅱ 英会話初級Ⅰ 英会話初級Ⅱ	英語初級Ⅲ 英語初級Ⅳ 英会話初級Ⅲ 英会話初級Ⅳ		
	情報技術科目 群	情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ			
	健康とスポー ツ科目群	健康・スポーツ科 学Ⅰ 健康・スポーツ科 学Ⅱ	健康・スポーツ科 学Ⅲ 健康・スポーツ科 学Ⅳ		
	キャリア教育 科目群				
専 門 教 育 部 門	基礎教育科目 群	生物学Ⅰ・Ⅱ 化学Ⅰ・Ⅱ 物理学 数学 生物学実験 化学実験		科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	
	学系共通	応用生物化学概説 分析化学 無機化学Ⅰ	無機化学Ⅱ	ゼミナールⅠ 機器分析化学 化学工学	卒業研究 ゼミナールⅡ
	生命科学系	生物化学Ⅰ	生物化学Ⅱ 微生物学Ⅰ 微生物学Ⅱ 応用生物化学実験 Ⅰ 応用生物化学実験 Ⅳ		
	食品科学系		栄養科学Ⅰ 栄養科学Ⅱ 畜産食品製造科学 Ⅰ	応用生物化学実験 Ⅴ 応用生物化学実験 Ⅶ 食品安全・衛生学 畜産食品製造科学 Ⅱ	
	生物有機化学 系	有機化学Ⅰ 物理化学Ⅰ	有機化学Ⅱ 農薬科学Ⅰ 物理化学Ⅱ 応用生物化学実験 Ⅱ 応用生物化学実験 Ⅲ 生物有機化学 生物物理化学 天然物有機化学	応用生物化学実験 Ⅵ 農薬科学Ⅱ 高分子レオロジー 生物制御化学 香粧品化学	

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

中学・高校の理科および農業高校の教員をめざす

想定される具体的な進路・職種	高等学校教諭（理科、農業）、中学校教諭（理科）
----------------	-------------------------

高等学校教諭一種免許状（理科、農業）および中学校教諭一種免許状（理科）を取得し、教員をめざす人のための履修モデルです。

■ - 必修科目 ■ - 選択科目

区分	授業科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養 教育 部門	人文社会科目群	日本の歴史と文化 哲学 日本国憲法 経済学			
	自然科学科目群	物質の成り立ち 生命・食料・環境・エネルギー			
	言語コミュニケーション科目群	英語初級Ⅰ 英語初級Ⅱ 英会話初級Ⅰ 英会話初級Ⅱ	英語初級Ⅲ 英語初級Ⅳ 英会話初級Ⅲ 英会話初級Ⅳ		
	情報技術科目群	情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ			
	健康とスポーツ科目群	健康・スポーツ科学Ⅰ 健康・スポーツ科学Ⅱ	健康・スポーツ科学Ⅲ 健康・スポーツ科学Ⅳ		
	キャリア教育科目群		職業指導論		
専門 教育 部門	基礎教育科目群	生物学Ⅰ・Ⅱ 化学Ⅰ・Ⅱ 物理学 地学 生物学実験 化学実験	【理科】物理学実験 【理科】地学実験	科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	
	学系共通	応用生物化学概説 分析化学 無機化学Ⅰ 農場実習 植物生命科学	無機化学Ⅱ フィールド生産技術論	ゼミナールⅠ 機器分析化学 化学工学 食品・環境関連法規 公衆衛生学 フィールドサイエンス	卒業研究 ゼミナールⅡ
	生命科学系	生物化学Ⅰ	生物化学Ⅱ 微生物学Ⅰ 微生物学Ⅱ 応用生物化学実験Ⅰ 応用生物化学実験Ⅳ バイオテクノロジー 代謝生化学	動物生命科学 醸造・発酵科学 分子生物学 タンパク質・遺伝子工学	

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
食品科学系	食物文化論 食品化学総論	栄養科学Ⅰ 栄養科学Ⅱ 畜産食品製造科学Ⅰ 食品原科学 食品加工実習 畜産食品原科学 食品利用学	応用生物化学実験Ⅴ 応用生物化学実験Ⅶ 食品安全・衛生学 畜産食品製造科学Ⅱ 食品機能学Ⅰ 食品機能学Ⅱ 食品保蔵学	
生物有機化学系	有機化学Ⅰ 物理化学Ⅰ	有機化学Ⅱ 農薬科学Ⅰ 物理化学Ⅱ 応用生物化学実験Ⅱ 応用生物化学実験Ⅲ 生物有機化学 生物物理化学	応用生物化学実験Ⅵ 農薬科学Ⅱ	
教職関係科目	教職入門 教育心理学 教育原論 教育課程論 生徒・進路指導論	道德教育の指導法 教育方法論 教育行政論 【理科】理科教育法Ⅰ 【理科】理科教育法Ⅱ 特別活動の指導法 学校教育相談	【農業】農業科教育法 【理科】理科指導法Ⅰ 【農業】農業科指導法 教育実習の研究	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習の研究 教育実践演習

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。